

信濃川下流 内外水統合の水害リスクマップ

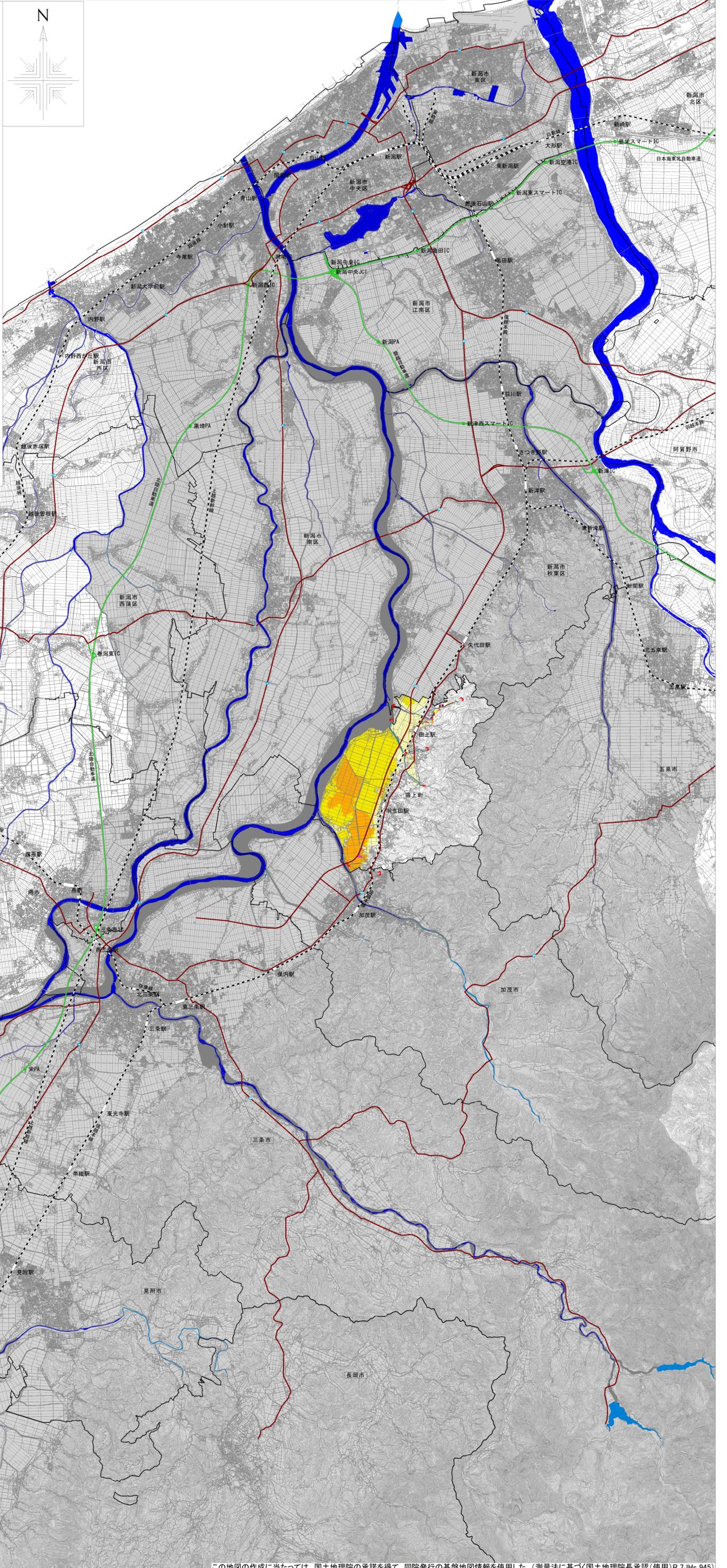
【現況河道】

浸水深50cm（床上浸水相当）
以上の浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文
 - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、現況の信濃川（下流）、開閉分水路等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案し、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/100（1%））、年超過確率1/150（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水による信濃川（下流）、開閉分水路等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
 - (4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
 - (5) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
 - (1) 公表年月日 令和8年3月11日
 - (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省北陸地方整備局
・信濃川下流河川事務所：信濃川水系信濃川（下流）流域
 - (3) 実施区間
【信濃川下流河川事務所】 ※国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照
・信濃川（下流）
左岸：新潟県燕市大川津字辰新野手川欠跡1062番の6地先から河口まで
右岸：新潟県長岡市中条新田字丸山1546番の2地先から河口まで
・開閉分水路
信濃川からの分派点から河口まで
 - (4) 算出の前提となる降雨

年超過確率 1/〇の流域ごとの総雨量	1/10	1/30	1/50	1/100	1/150	想定最大
信濃川（下流）：2日間	157mm	200mm	221mm	251mm	270mm	633mm
加茂川：1日間	156mm	206mm	231mm	268mm	290mm	770mm
雨水出水：6時間	91.8mm (49.0mm)	119.9mm (63.0mm)	134.3mm (69.8mm)	155.2mm (79.8mm)	164.3mm (85.3mm)	—
【新潟地域】	103.8mm (51.1mm)	154.2mm (67.0mm)	186.0mm (74.8mm)	239.4mm (86.5mm)	271.4mm (95.2mm)	—

 ※雨水出水の下段括弧書き数値は1時間雨量の最大値
3. 河道条件
 - (1) 信濃川（下流）、加茂川、五社川、才歩川、山田川、大正川：現況
4. 下水道等条件
 - (1) 施設条件：現況
 - (2) その他の計算条件等
 - このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
 - 下水道等の排水シミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定しています。
 - 排水ポンプ・水門・樋門等は、操作規則に応じた排水条件を設定しています。
 - 田んぼ等では、田上町が現時点で把握する取り組みエリアにおいて一律に取り組んでいるものとみなし、排水量や浸水の深さを求めています。一方、実際の田んぼ等の取り組み状況は田んぼ毎に異なる場合があるため、想定される浸水エリア・浸水深等は今回提示する結果と異なる場合があります。
5. 関係市町村 田上町
6. その他計算条件等
 - (1) 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としています。 ※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。



凡例

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 低頻度(1/150)
- 想定最大規模
- 市区町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の検討対象河川
- 検討対象となる河川の流域と氾濫原の内、今回公表対象外となる地域

この地図の作成に当たっては、国土地理院の承諾を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7Jhs 945)

2. 基本事項等

(3) 実施区間

【信濃川下流河川事務所】

- ・ 信濃川（下流）
 - 左岸：新潟県燕市大川津字辰新野手川欠跡 1062 番の 6 地先から河口まで
 - 右岸：新潟県長岡市中条新田字丸山 1546 番の 2 地先から河口まで
- ・ 関屋分水路
信濃川からの分派点から河口まで

【新潟県】

- ・ 加茂川
新潟県加茂市大字黒水から信濃川合流点まで
- ・ 五社川
新潟県南蒲原郡田上町湯川地先から信濃川合流点まで
- ・ 才歩川
新潟県南蒲原郡田上町大字田上地先から信濃川合流点まで
- ・ 山田川
新潟県南蒲原郡田上町大字田上地先から才歩川合流点まで
- ・ 大正川
新潟県加茂市学校町地先から加茂川合流点まで